

人権に関する市民意識調査報告書（概要）

調査票：調査項目

周南市

※H20: 前回調査

※山口県: R1山口県調査

【調査目的】 この調査は、人権に関する市民の意識を把握し、今後の人権施策を推進する上での基礎資料とする。

【調査対象】 市内に居住する18歳以上の者から2,306人を無作為抽出

【調査期間】 令和元年8月26日から令和元年9月17日まで

調査票配布数(人)

有効回収数(人)

有効回収率(%)

	R1	H20	山口県
調査票配布数(人)	2,306	2,275	3,000
有効回収数(人)	874	1,052	1,535
有効回収率(%)	38.1	46.7	51.6

※以下、数値の単位は%

【属性】

○ あなたの性別は(✓は1つ)

- 1 男
- 2 女
- 3 どちらでもない
- 4 答えたくない
- 5 その他

	R1	H20	山口県
1 男	38.7	40.4	41.4
2 女	58.6	57.1	52.4
3 どちらでもない	0.1		0.2
4 答えたくない	1.3	—	1.1
5 その他	-		0.1

○ あなたの年齢は(令和元年(2019年)7月1日現在の満年齢)(✓は1つ)

- 1 18～19歳
- 2 20～29歳
- 3 30～39歳
- 4 40～49歳
- 5 50～59歳
- 6 60～69歳
- 7 70～79歳
- 8 80歳以上

	R1	H20	山口県
1 18～19歳	3.7		1.3
2 20～29歳	10.3	7.2	6.4
3 30～39歳	12.6	11.6	9.0
4 40～49歳	10.6	8.8	14.7
5 50～59歳	13.4	18.5	14.5
6 60～69歳	16.1	21.6	19.6
7 70～79歳	18.4		19.3
8 80歳以上	13.3	30.0	10.5

○ あなたのご職業は(✓は1つ)

- 1 農林漁業者(家族従事者も含む)
- 2 企業の経営者・自営業者(家族従事者も含む)
- 3 民間の企業や工場・商店などに勤める人
- 4 学校の教職員(大学・短大・専門学校・幼稚園・保育所を含む)
- 5 医療・保健・福祉関係者(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・介護福祉士など)
- 6 学校・医療関係以外の公務員
- 7 その他の専門職・自由業(弁護士・公認会計士・宗教家・芸術家・各種師匠など)
- 8 臨時職員やパート等
- 9 主婦(夫)(専ら家事・育児をしている人)
- 10 学生
- 11 その他(無職など、上記以外の人)

	R1	H20	山口県
1 農林漁業者(家族従事者も含む)	2.1	4.3	3.9
2 企業の経営者・自営業者(家族従事者も含む)	5.1	6.2	5.5
3 民間の企業や工場・商店などに勤める人	21.1	20.1	17.5
4 学校の教職員(大学・短大・専門学校・幼稚園・保育所を含む)	2.9	2.2	2.9
5 医療・保健・福祉関係者(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・保健師・介護福祉士など)	6.5	4.3	6.7
6 学校・医療関係以外の公務員	2.3	1.4	3.2
7 その他の専門職・自由業(弁護士・公認会計士・宗教家・芸術家・各種師匠など)	1.5	1.0	1.6
8 臨時職員やパート等	9.7	10.2	10.9
9 主婦(夫)(専ら家事・育児をしている人)	15.0	17.8	16.2
10 学生	4.5	0.9	2.0
11 その他(無職など、上記以外の人)	27.3	28.7	25.0

1 人権一般について

※ (p〇～〇)は報告書の該当頁を示す。

(1) 基本的人権に関する認知度

p4～5

問1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。(✓は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない⇒問2へお進みください
- 3 無回答

R1	H20	山口県
88.4	85.5	87.8
10.3	13.0	10.9
1.3	1.5	1.3

▶「知っている」(85.5%→88.4%)、前回調査より 2.9 ポイント上昇。
▶H29 内閣府調査(81.4%)より 7.0 ポイント、R1県調査(87.8%)より0.6ポイント高い。

(2) 関心のある基本的人権

p6～9

問1-2 【問1で「1知っている」を選んだ人のみ回答】

憲法で保障されている基本的人権のうち、あなたが日常生活の中で、特に関心をもっているものはどれですか。(R1:✓はいくつでも) ※(H20:✓は3つまで)

- 1 自由権(思想や学問の自由、信教の自由、言論や結社の自由、居住・移転・職業を選ぶ自由など)
- 2 平等権(法の下での平等、男女両性の平等、選挙権の平等)
- 3 生存権(健康で文化的な最低限度の生活を営む権利)
- 4 教育を受ける権利
- 5 仕事に就いて働く権利
- 6 働く人が、団結・団体交渉・団体行動する権利
- 7 政治に参加する権利(選挙権、最高裁判所裁判官の国民審査など)
- 8 裁判を受ける権利
- 9 その他
- 10 わからない

	R1	H20	山口県
①	74.1	68.4	76.0
②	68.6	60.7	68.4
③	63.1	57.3	62.0
④	57.6	25.9	55.6
	37.3	10.1	37.1
	27.3	6.8	28.3
	33.8	16.1	35.3
	21.3	3.2	22.4
	3.5	0.3	0.6
	2.5	1.4	2.7

▶前回調査同様、「自由権」、「平等権」、「生存権」、「教育を受ける権利」の順に高い。

(3) 山口県人権推進指針の理解度

p10～11

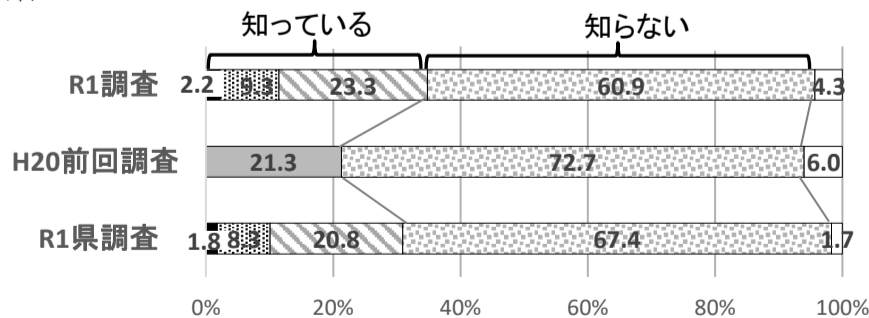
問2 山口県では、「山口県人権推進指針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたはこの「山口県人権推進指針」を知っていますか。(✓は1つ)

- 1 知っていて内容もよく理解している
- 2 知っていて内容もある程度は(少しは)理解している
- 3 知っているが内容はよく理解していない
- 4 知らない⇒問3へお進みください
- 5 無回答

知っている
(計)34.8%

知らない

R1	H20	山口県
2.2		1.8
9.3	21.3	8.3
23.3		20.8
60.9	72.7	67.4
4.3	6.0	1.7



▶「知っている(計)」(21.3%→34.8%)は前回調査より13.5ポイント上昇しているものの、3割強にとどまっており、理解度も決して高い状況にはない。

(4) 山口県人権推進指針を知ったきっかけ

p12~13

問2-2【問2で1~3を選んだ人のみ回答】

(1) あなたが、山口県人権推進指針を知ったきっかけは何からですか。(✓はいくつでも)

- 1 研修会・講習会
- 2 人権に関するイベント(人権フェスティバル等)
- 3 県・市町の広報紙
- 4 県・市町のホームページ
- 5 その他

	R1	H20	山口県
	22.4	20.5	17.9
	11.5	19.6	12.2
①	64.1	71.9	68.8
	7.6	8.9	7.8
	6.3	3.1	2.5

▶前回調査同様、「県・市町の広報紙」(64.1%)が最も高い。一方で「県・市町のホームページ」(7.6%)は1割に満たない。
 ▶山口県人権推進指針の理解度との関係性に着目すると、「指針」の理解度が高い人ほど、「研修会・講習会」や「人権に関するイベント」を知ったきっかけとして回答する割合が高い傾向にある。(p122)

(5) 山口県人権推進指針の内容に対する感想

p14~15

(2) 山口県人権推進指針について、どのように思いましたか。(✓は1つ)

- 1 わかりやすい
- 2 共感できる
- 3 むずかしくてわかりにくい
- 4 もっと内容を充実すべき
- 5 その他

肯定的な感想
(計)43.4%

否定的な感想
(計)44.1%

	R1	H20	山口県
肯定的な感想 (計)43.4%	11.5	10.3	8.4
	31.9	37.1	35.2
否定的な感想 (計)44.1%	31.9	19.2	30.5
	12.2	21.4	12.6
	2.6	1.8	2.7

▶「肯定的な感想(計)」43.4%。前回調査より 4.0 ポイント低下。
 ▶一方で「否定的な感想(計)」44.1%。前回調査より 3.5 ポイント上昇。

(6) 山口県における人権尊重意識の定着状況

p16~17

問3 今の山口県は、10年前と比べて、人権が尊重された県になっていると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。(✓は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそうは思わない
- 5 そうは思わない
- 6 わからない
- 7 無回答

そう思う
(計)27.0%

そうは思わない
(計)11.8%

	R1	H20	山口県
そう思う (計)27.0%	6.1	19.9	4.5
	20.9	—	23.0
	26.1	39.7	26.0
そうは思わない (計)11.8%	5.5	—	5.0
	6.3	10.3	6.4
	32.7	26.3	32.6
	2.4	3.9	2.5

▶「そう思う(計)」27.0%、前回調査より7.1 ポイント上昇。
 ▶「そうは思わない(計)」11.8%、前回調査より 1.5ポイント上昇。
 ▶山口県人権推進指針の理解度が高い人ほど、「そう思う」と回答する割合が高い傾向にある。(p122)

(7) 周南市人権行政基本方針の理解度

【新規】

p18~19

問4 周南市では、「周南市人権行政基本方針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたはこの「周南市人権行政基本方針」を知っていますか。

- 1 知っていて内容もよく理解している
- 2 知っていて内容もある程度は(少しは)理解している
- 3 知っているが内容はよく理解していない
- 4 知らない⇒問5へお進みください

知っている
(計)27.7%

知らない

R1	H20	山口県
1.2	—	—
7.9		
18.6		
71.3		

▶「知っている(計)」は27.7%、問2山口県人権推進指針の理解度(34.8%)に比べて低い。

(8) 周南市人権行政基本方針を知ったきっかけ

【新規】

p20~21

問4-2【問4で1~3を選んだ人のみ回答】

(1) あなたが、周南市人権行政基本方針を知ったきっかけは何からですか。(✓はいくつでも)

- 1 研修会・講習会
- 2 人権に関するイベント(人権フェスティバル等)
- 3 県・市町の広報紙
- 4 県・市町のホームページ
- 5 その他

R1	H20	山口県
34.0	—	—
8.5		
74.0		
7.5		
3.0		

▶「研修会・講習会」34.0%、問2-2(1)山口県人権推進指針を知ったきっかけ(22.4%)に比べて高い。
▶「県・市町の広報紙」74.0%、問2-2(1)山口県人権推進指針を知ったきっかけ(64.1%)に比べて高い。

(9) 周南市人権行政基本方針の内容に対する感想

【新規】

p22~23

(2) 周南市人権行政基本方針について、どのように思いましたか。(✓は1つ)

- 1 わかりやすい
- 2 共感できる
- 3 むずかしくてわかりにくい
- 4 もっと内容を充実すべき
- 5 その他

肯定的な感想
(計)44.5%

否定的な感想
(計)49.0%

R1	H20	山口県
6.5	—	—
38.0		
36.0		
13.0		
3.0		

▶「肯定的な感想(計)」44.5%。問2-2(2)山口県人権推進指針の理解度の43.4%に比べて高い。
▶「否定的な感想(計)」49.0%。問2-2(2)山口県人権推進指針の理解度の44.1%に比べて高い。

(10) 周南市における人権尊重意識の定着状況

【新規】

p24~25

問5 今の周南市は、10年前と比べて、人権が尊重された市になっていると思いますか。あなたの気持ちに一番近いものをお答えください。(✓は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそうは思わない
- 5 そうは思わない
- 6 わからない

そう思う
(計)24.0%

そうは思わない
(計)10.5%

R1	H20	山口県
6.0	—	—
18.0		
27.3		
4.7		
5.8		
36.6		

▶「そう思う(計)」24.0%、問3山口県における人権尊重意識の定着状況(27.0%)に比べて低い。
▶「そうは思わない(計)」10.5%、問3山口県全体における人権尊重意識の定着状況(11.8%)に比べて低い。

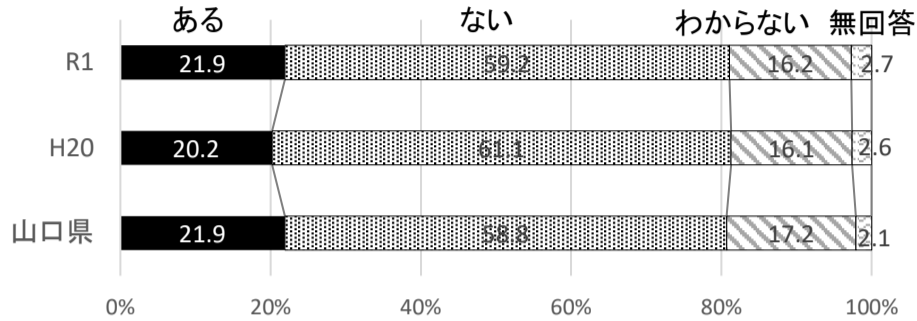
(11) 人権を侵害された経験

p26~27

問6 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(✓は1つ)

- 1 ある
- 2 ない ⇒問7へお進みください
- 3 わからない⇒問7へお進みください
- 4 無回答

	R1	H20	山口県
↑	21.9	20.2	21.9
↓	59.2	61.1	58.8
	16.2	16.1	17.2
	2.7	2.6	2.1



▶「ある」は21.9%、前回調査より1.7ポイント上昇。「ない」は59.2%、前回調査より1.9ポイント低下。
 ▶「ある」は H29 内閣府調査(15.9%)より6.0ポイント高い。県調査とほぼ同傾向。

(12) 人権を侵害されたと思った内容

p28~31

問6-2【問6で「1ある」を選んだ人のみ回答】

(1) あなたが侵害されたと思った内容はどのようなものでしたか。(✓はいくつでも)

- 1 名誉き損、侮辱
- 2 暴力・虐待(家庭内を含む)、脅迫、強要
- 3 公的機関や企業、団体による不当な扱い
- 4 社会福祉施設での不当な扱い
- 5 警察官による不当な扱い(犯罪や不法行為のぬれぎぬなど)
- 6 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)
- 7 地域や職場などでの仲間はずれ(他人からの悪口、かげ口など)
- 8 セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為
- 9 プライバシーの侵害
- 10 インターネットによる人権侵害
- 11 悪臭、騒音等の公害
- 12 その他
- 13 なんとなく
- 14 答えたくない

	R1	H20	山口県
②	28.3	30.0	32.4
⑦ ↑	16.2	13.6	19.0
③ ↑	22.5	22.1	19.9
	6.8	5.6	3.6
	9.9	12.2	6.8
③ ↑	22.5	18.8	20.8
① ↑	35.6	33.8	36.9
⑥ ↑	17.3	9.9	14.6
⑤ ↑	17.8	14.6	15.5
	3.1	1.9	3.0
	13.6	16.9	9.5
	8.4	8.9	5.1
	3.1	4.7	1.2
	2.6	3.3	2.4

▶「地域や職場などでの仲間はずれ」(35.6%)、「名誉き損、侮辱」(28.3%)の順に高い。
 ▶前回調査より「セクシュアル・ハラスメントやストーカー行為」(9.9%→17.3%)は7.4ポイント、「差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不当な扱い)」(18.8%→22.5%)は3.7ポイント上昇。

(13) 人権を侵害された際の対処法

p32~35

(2) そのとき、あなたはこうされましたか。(✓はいくつでも)

- 1 黙って我慢した
- 2 相手に抗議した
- 3 親、きょうだい、子どもや親戚に相談した
- 4 自治会の役員や民生委員に相談した
- 5 親しい友だち、職場の同僚や上司に相談した
- 6 法務局や人権擁護委員に相談した
- 7 県や市町村の担当部署に相談した
- 8 弁護士に相談した
- 9 警察に相談した
- 10 民間団体などに相談した
- 11 新聞などの報道機関等に相談した
- 12 その他

	R1	H20	山口県
① ↑	61.8	57.7	64.3
②	29.3	34.3	23.5
④ ↑	23.6	21.1	23.2
	4.7	4.2	3.9
③ ↑	28.8	21.1	25.9
	1.6	1.9	0.9
	6.8	4.2	5.7
	5.2	4.7	3.9
	7.3	5.2	7.4
	1.0	1.9	1.5
	0.5	0.5	—
	6.3	5.2	6.3

▶「黙って我慢した」(57.7%→61.8%↑)が前回調査より4.1ポイント上昇。
 ▶相談先では、「親しい友だち、職場の同僚や上司」「親、きょうだい、子どもや親戚」が上昇。
 ▶一方で、公的機関である「警察」、「県や市町村の担当部署」、「法務局や人権擁護委員」のいずれも1割に満たない。

2 人権の個別分野ごとの課題

(1)新たに施行された人権に関する法律の認知度 【新規】

p36~39

問7 あなたは、以下の法律が施行されたことを知っていますか。(知っているもの全てに✓)

- 1 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法;H24施行)
- 2 いじめ防止対策推進法(H25施行)
- 3 子どもの貧困対策の推進に関する法律(子どもの貧困対策推進法;H26施行)
- 4 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法;H28施行)
- 5 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法;H28施行)
- 6 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法;H28施行)
- 7 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法;H28施行)
- 8 どれも知らない

	R1	H20	山口県
②	40.0	—	41.7
①	63.2	—	60.9
④	34.6	—	32.6
③	36.0	—	33.8
⑤	31.1	—	31.5
⑦	22.3	—	21.8
⑥	29.9	—	26.7
	18.2	—	19.7

▶「いじめ防止対策推進法」(63.2%)が最も高い。一方で「どれも知らない」が全体の2割弱(18.2%)となっている。
 ▶県調査より「いじめ防止対策推進法」が2.3ポイント、「子どもの貧困対策推進法」が2.0ポイント、「女性活躍推進法」が2.2ポイント、「部落差別解消推進法」が3.2ポイント、「ヘイトスピーチ解消法」が0.5ポイント高い。
 ▶山口県人権推進指針の理解度が高い人ほど、法律の認知度が高い傾向にある。(p123)

(2) 女性に関する人権上の問題点

p40~43

問8 あなたは、女性に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家事」など)をおしつけられること 20代、30代の5割超が回答。	① ↑ 43.8	37.9	41.6
<input type="checkbox"/> 2 職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇 医療等の関係者、教職員、学生の5割超が回答。	② ↑ 42.7	39.2	35.6
<input type="checkbox"/> 3 家庭内における配偶者に対する暴力(酒に酔ってなぐるなど) 18~19歳、50~59歳の3割超が回答。公務員、専門職・自由業、学生の3割が回答。	④ ↑ 25.6	18.9	23.7
<input type="checkbox"/> 4 職場におけるセクシュアル・ハラスメント 20代、30代の4割超が回答。農林漁業者、医療等関係者の4割超が回答。	③ ↑ 30.1	18.4	30.0
<input type="checkbox"/> 5 売春・買春(援助交際を含む)	17.7	21.5	17.4
<input type="checkbox"/> 6 政策や方針を決定する過程に女性が十分参画できないこと	16.4	16.6	17.9
<input type="checkbox"/> 7 内容に関係なく女性の水着姿、裸体等を使用した広告・雑誌や写真、アダルト(成人向け)ビデオ等	12.6	21.3	12.8
<input type="checkbox"/> 8 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	12.7	13.5	12.1
<input type="checkbox"/> 9 その他	1.9	1.9	1.4
<input type="checkbox"/> 10 特にない	8.7	12.5	7.8
<input type="checkbox"/> 11 わからない	5.3	7.0	5.5

▶「男性の固定的な役割分担意識をおしつけられること」(43.8%)が最も高い。次いで、「職場における採用時や昇進・昇格などの差別待遇」「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」「家庭内における配偶者に対する暴力」の順に高く、いずれも前回調査より上昇。
▶「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」(18.4%→30.1%)は11.7ポイント上昇。

(3) 子どもに関する人権上の問題点

p44~47

問9 あなたは、子どもに関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 成績だけを気にかけている保護者がいること	25.5	37.9	22.4
<input type="checkbox"/> 2 食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること	③ 33.8	34.8	31.1
<input type="checkbox"/> 3 大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり、児童買春等を行うこと 18~39歳の6割が回答。企業等勤め人、臨時職・パート、学生の6割が回答。	② ↑ 52.2	36.1	46.3
<input type="checkbox"/> 4 子どもの意見を受けとめないで自分の考えを押しつける大人(保護者)がいること	29.2	31.7	29.0
<input type="checkbox"/> 5 大人が子どもを一人の人格をもった人間として認めないこと	20.9	19.7	20.7
<input type="checkbox"/> 6 子どもに有害な情報(暴力的な漫画、性描写の雑誌など)があること	12.4	24.8	13.6
<input type="checkbox"/> 7 子どもの間でいじめが行われていること 30代・50代・60代の6割が回答。農林業業者、公務員、専門職・自由業、臨時職・パートの6割が回答。	① ↑ 54.0	33.4	44.8
<input type="checkbox"/> 8 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	19.2	13.4	22.0
<input type="checkbox"/> 9 その他	2.1	1.7	1.0
<input type="checkbox"/> 10 特にない	1.9	4.9	2.9
<input type="checkbox"/> 11 わからない	2.7	5.3	2.7

▶「子どもの間でいじめが行われていること」(54.0%)、「大人(保護者)が暴力や虐待を行ったり児童買春等を行うこと」(52.2%)が高く、前回調査より大きく上昇、県調査よりも高い傾向。
▶「子どもの貧困対策推進法」を知っている人は、「食事や健康管理など、養育に本気で取り組まない保護者がいること」が6.6ポイント全体結果に比べて高い。(p124)

(4) 高齢者に関する人権上の問題点

p48~51

問10 あなたは、高齢者に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 経済的に自立が困難なこと 40代・50代・60代の4割超が回答。臨時職・パートの5割超が回答。	② ↓ 36.7	43.0	36.1
<input type="checkbox"/> 2 働ける能力を発揮する機会が少ないこと	⑤ ↓ 26.1	35.1	21.4
新 <input type="checkbox"/> 3 認知症について社会の理解が不十分であること 農林漁業者の5割が回答。	④ 26.9	—	23.5
<input type="checkbox"/> 4 悪徳商法や特殊詐欺、財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること 70歳以上の6割超が回答。農林漁業者の9割弱、公務員、主婦(夫)の7割が回答。	① ↑ 57.2	52.5	57.3
<input type="checkbox"/> 5 家庭において看護や介護をせずに、嫌がらせや虐待をすること	12.1	13.5	11.1
<input type="checkbox"/> 6 病院や養介護施設において、嫌がらせや虐待をすること 40代の5割超が回答。	③ ↑ 27.3	17.1	25.8
<input type="checkbox"/> 7 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること	10.8	19.7	10.8
<input type="checkbox"/> 8 高齢者の意見や行動を尊重しないこと	8.6	15.7	7.8
<input type="checkbox"/> 9 乗物、建物などでバリアフリー(高齢者や障害者などが、日常生活や社会生活を営む上でさまざまな障害を取り除くこと)化が図られていないこと	14.1	16.5	12.7
<input type="checkbox"/> 10 アパートなどへの入居が、高齢者というだけで制限されること	13.2	11.1	14.9
<input type="checkbox"/> 11 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	1.0	0.3	1.1
<input type="checkbox"/> 12 その他	1.6	2.4	1.5
<input type="checkbox"/> 13 特にない	2.4	6.0	3.2
<input type="checkbox"/> 14 わからない	3.0	4.1	2.0

▶「悪徳商法や特殊詐欺、財産侵害など高齢者が被害者となる犯罪が増加していること」(57.2%)が最も高く、次いで、「経済的に自立が困難なこと」(36.7%)、「病院や養介護施設において、嫌がらせや虐待をすること」(27.3%)の順となっている。
▶新たな選択肢である「認知症について社会の理解が不十分であること」は26.9%となっている。

(5) 障害のある人に関する人権上の問題点

p52~57

問11 あなたは、障害のある人に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 障害のある人や障害について人々の理解が不足していること 公務員、教職員、医療等の関係者、農林漁業者、学生の6割超が回答。	① 50.6	54.1	50.2
<input type="checkbox"/> 2 働く場や働くための支援が十分でないこと 教職員の6割が回答。一方で公務員の回答は1割。	② 32.3	45.2	31.7
<input type="checkbox"/> 3 就職、職場で不利な扱いを受けること	20.0	22.0	19.8
<input type="checkbox"/> 4 結婚問題で周囲の反対を受けること	7.2	8.2	6.0
<input type="checkbox"/> 5 差別的な言動をされること 18・19歳の6割弱が回答。	③ 26.2	22.5	23.8
<input type="checkbox"/> 6 財産管理面での権利侵害、賃金不払ほか給料搾取、悪徳商法などの被害を受けること	10.2	9.5	9.0
新 <input type="checkbox"/> 7 家庭において看護や介護をせずに、嫌がらせや虐待を受けること	5.8	—	3.9
新 <input type="checkbox"/> 8 病院や福祉施設等において嫌がらせや虐待を受けること	11.6	—	10.1
<input type="checkbox"/> 9 福祉施設等の受入れ体制が十分でないこと	18.4	19.0	17.3
<input type="checkbox"/> 10 交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと	18.0	19.4	18.7
<input type="checkbox"/> 11 アパートなどへの入居が、障害者というだけで制限されること	5.1	4.4	5.4
<input type="checkbox"/> 12 スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	3.0	3.7	2.5
新 <input type="checkbox"/> 13 じろじろ見られたり、避けられたりすること	13.2	—	11.5
<input type="checkbox"/> 14 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	0.7	0.4	1.2
<input type="checkbox"/> 15 その他	1.5	1.1	0.7
<input type="checkbox"/> 16 特にない	3.0	6.4	4.0
<input type="checkbox"/> 17 わからない	6.9	7.6	5.5

▶「障害のある人や障害について人々の理解が不足していること」(50.6%)が最も高く、次いで、「働く場や働くための支援が十分でないこと」(32.3%)、「差別的な言動をされること」(26.2%)の順となっている。
▶「障害者虐待防止法」や「障害者差別解消法」を知っている人は、「障害のある人や障害について人々の理解が不足していること」、「働く場や働くための支援が十分でないこと」などの回答割合が高くなっている。(p125)

(6) 罪や非行を犯した人が立ち直ろうとする場合の人権上の問題点

p58~60

問12 あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとする場合、どのような問題があると思われますか。(✓は2つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること	① ↑ 56.8	55.2	51.5
<input type="checkbox"/> 2 就職、職場で不利な扱いを受けること	② ↑ 43.5	36.3	38.5
<input type="checkbox"/> 3 アパート等の入居を拒否されること	4.9	3.8	6.1
<input type="checkbox"/> 4 結婚問題で周囲の反対を受けること	6.2	8.1	4.8
<input type="checkbox"/> 5 じろじろ見られたり、避けられたりすること	6.9	10.6	5.9
<input type="checkbox"/> 6 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	8.8	3.2	7.9
<input type="checkbox"/> 7 その他	1.4	2.9	2.1
<input type="checkbox"/> 8 特にない	10.1	9.7	8.3
<input type="checkbox"/> 9 わからない	11.8	15.9	12.9

▶前回調査同様、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」(56.8%)、「就職、職場で不利な扱いを受けること」(43.5%)の2つが主な回答になっている。

(7) 犯罪被害者に関する人権上の問題点

p61~64

問13 あなたは、犯罪被害者に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 犯罪行為によって、精神的なショックを受けること 20代の6割超が回答。教職員の8割弱が回答。	① ↑ 50.0	44.8	44.6
<input type="checkbox"/> 2 犯罪行為によって、経済的負担を受けること	18.6	21.9	16.0
<input type="checkbox"/> 3 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること 公務員、教職員、医療等の関係者、農林漁業者、学生の6割超が回答。	③ ↑ 32.4	22.3	29.4
<input type="checkbox"/> 4 警察に相談しても、期待どおりの結果が得られないこと	30.8	27.4	27.1
<input type="checkbox"/> 5 捜査や刑事裁判において、精神的負担を受けること	12.7	12.9	13.5
<input type="checkbox"/> 6 刑事裁判手続きに、必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと	12.7	14.4	12.6
<input type="checkbox"/> 7 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること 医療等の関係者、公務員、臨時職・パート、経営者・自営業者の5割超が回答。	② ↑ 45.8	43.4	48.4
<input type="checkbox"/> 8 犯罪被害者に対して、職場・同僚・学校関係者などの十分な理解が得られないこと	12.1	10.0	13.1
<input type="checkbox"/> 9 捜査機関からの犯罪に関する情報提供がなされないこと	4.6	9.6	5.4
<input type="checkbox"/> 10 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	9.0	3.6	6.9
<input type="checkbox"/> 11 その他	0.8	0.8	0.5
<input type="checkbox"/> 12 特にない	3.4	6.0	2.9
<input type="checkbox"/> 13 わからない	8.7	12.3	8.5

▶「犯罪行為によって、精神的なショックを受けること」(50.0%)が最も高い。次いで、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」(45.8%)、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」(32.4%)の順となっている。いずれも前回調査より上昇している。

(8) プライバシーの保護に関する人権上の問題点

p65~68

問14 あなたは、プライバシーの保護に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出(紛失)すること 幅広い年齢層の7割超が回答。専門職・自由業、公務員の9割が回答。すべての職業の7割以上が回答。	69.1	65.4	67.7
<input type="checkbox"/> 2 知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること 50代・60代の6割超が回答。	57.1	64.6	59.7
<input type="checkbox"/> 3 インターネットを介して大量の個人情報が流出する事件が多発していること 幅広い年齢層の5割超が回答。専門職・自由業の8割弱が回答。	47.5	32.5	46.1
<input type="checkbox"/> 4 インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み	14.0	7.0	9.8
<input type="checkbox"/> 5 自分や家族のことについて、他人に言いふらされること	15.4	15.9	14.9
<input type="checkbox"/> 6 就職や結婚などの際に、企業や調査機関等から調査されること	4.1	6.1	4.6
<input type="checkbox"/> 7 役所への届出等で、直接関係のないことを書かされたり聞かれたりすること	3.8	6.2	4.0
<input type="checkbox"/> 8 公的機関や企業において、自分に関する情報や資料を見せてもらえないこと	3.0	5.6	3.3
<input type="checkbox"/> 9 事件や事故などの関係者のプライベートな情報を公開すること	12.2	10.3	11.2
<input type="checkbox"/> 10 その他	0.6	1.1	0.5
<input type="checkbox"/> 11 特にない	3.9	7.1	3.4
<input type="checkbox"/> 12 わからない	3.7	5.6	3.1

▶「個人情報の不正な取扱いや信用情報、顧客データ等を盗用・横流し・流出(紛失)すること」(69.1%)、「知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」(57.1%)の順に高い。
▶「インターネットを介して大量の個人情報が流出する事件が多発していること」は前回調査より15.0ポイント上昇している。

(9) インフォームド・コンセントに関する医療機関の対応

p69~70

問15 「インフォームド・コンセント」(治療の目的や内容を納得できるように患者に説明し、了承を得て治療をすること。)が患者の権利として重視されていますが、あなたがこれまでに受けた医療機関の対応は、次のうちどれに近いですか。(✓は1つ)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 本人又は家族に対して十分な説明を受けた	50.1	43.6	50.7
<input type="checkbox"/> 2 本人又は家族への説明がやや不十分であった	15.6	16.3	16.5
<input type="checkbox"/> 3 本人又は家族への説明に対して不満を感じた	8.8	8.7	6.2
<input type="checkbox"/> 4 特に説明を受けたことはない	8.4	11.2	9.7
<input type="checkbox"/> 5 その他	1.6	1.6	0.9
<input type="checkbox"/> 6 わからない、覚えていない	12.9	13.1	12.8

▶前回調査に比べ、「本人又は家族に対して十分な説明を受けた」が6.5ポイント上昇し、「特に説明を受けたことはない」が2.8ポイント低下している。

(10) 性同一性障害のある人に関する人権上の問題点

【新規】

p71~74

問16 あなたは、生物学的な性ところの性が一致しない性同一性障害のある人に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 性同一性障害について人々の理解が不足していること 幅広い年齢層(18歳~69歳)の6割以上が回答。教職員、医療等の関係者の7割超が回答。	58.5	—	56.3
<input type="checkbox"/> 2 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること 30代の5割超が回答。学生、教職員、臨時職・パートの4割超が回答。	32.0	—	30.3
<input type="checkbox"/> 3 就職・職場で不利な扱いを受けること	20.8	—	19.8
<input type="checkbox"/> 4 差別的な言動をされること 20代の5割超が回答。教職員、学生の5割超が回答。	34.1	—	32.7
<input type="checkbox"/> 5 アパート等の入居を拒否されること	4.5	—	3.7
<input type="checkbox"/> 6 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること	3.2	—	3.5
<input type="checkbox"/> 7 じろじろ見られたり、避けられたりすること	13.4	—	12.3
<input type="checkbox"/> 8 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること	7.9	—	6.7

- 9 その他
- 10 特にない
- 11 わからない

1.0	—	0.6
7.1	—	6.8
17.6	—	18.9

▶「性同一性障害について人々の理解が不足していること」(58.5%)が最も高く、次いで、「差別的な言動をされること」、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」の順となっている。

(11) 同和問題に関する人権上の問題点と見聞

問17 ①あなたは、同和問題に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで) ※(H20:✓は2つまで)

p75~78

- 1 結婚問題で周囲の反対を受けること
40代~70代は選択肢の中で最も高い。公務員の6割、臨時職・パート、専門職・自由業、医療等の関係者の4割超が回答。
- 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
30代の4割超が回答。専門職・自由業、公務員、教職員の約5割が回答。
- 3 差別的な言動をされること
18・19歳、20代、30代において最も高い選択肢。教職員、専門職・自由業の5割超が回答。
- 新** 4 身元調査をされること
50代の3割超が回答。教職員、主婦(夫)、専門職・自由業の3割超が回答。
- 5 インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること
専門職・自由業の4割、公務員の3割が回答。
- 新** 6 差別的な落書きをされること
- 7 えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること
- 8 その他
- 9 特にない
- 10 わからない
18~19歳の5割弱、学生の4割超が回答。

	R1	H20	山口県
① ↑	37.4	23.9	38.3
③ ↑	28.4	3.8	26.8
② ↑	31.6	12.1	28.1
④	23.7	—	25.3
⑤ ↑	14.0	1.4	13.2
	5.0	—	4.5
	9.0	12.1	10.3
	1.3	5.5	0.5
	11.6	14.4	12.2
	16.7	17.1	14.4

▶前回調査で最も高かった「偏見が残っていること」(H20:46.7%)の選択肢をなくしたこともあって、ほとんどの選択肢で回答割合が上昇している。
▶「部落差別解消推進法」を知っている人は、「問題点」に関するすべての選択肢において回答割合が高い傾向にある。(p126)

②また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

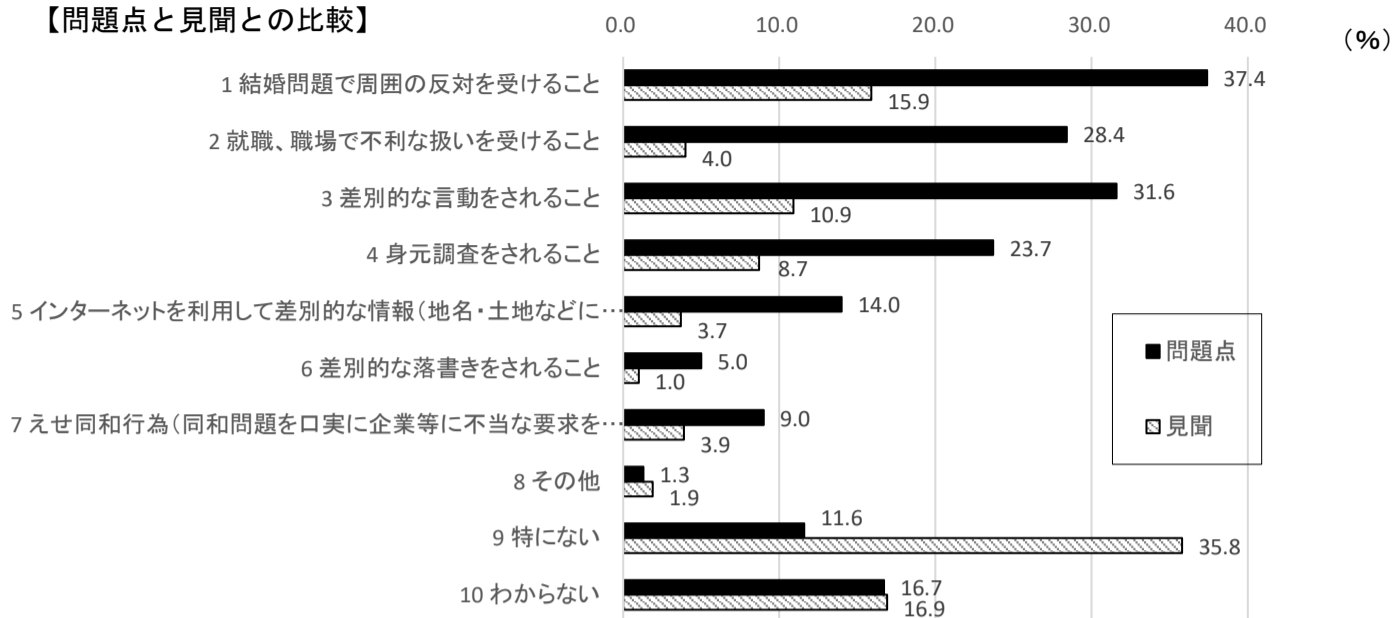
p79~82

- 1 結婚問題で周囲の反対を受けること
30代~80歳以上において最も高い選択肢。 経営者・自営業者、臨時職・パートの約2割が回答。
- 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動をされること
40代以上の1割が回答。専門職・自由業の2割が回答。
- 4 身元調査をされること
50代、60代、80代の1割が回答。 医療等関係者の1割が回答。
- 5 インターネットを利用して差別的な情報(地名・土地などに関するもの)が掲載されること
- 6 差別的な落書きをされること
- 7 えせ同和行為(同和問題を口実に企業等に不当な要求をする行為)がされること
- 8 その他
- 9 特にない
- 10 わからない
18~19歳、20代、学生の約4割が回答。

【新規】

	R1	H20	山口県
①	15.9	—	15.0
	4.0	—	3.8
②	10.9	—	10.4
③	8.7	—	9.1
	3.7	—	3.4
	1.0	—	1.3
	3.9	—	3.9
	1.9	—	0.9
	35.8	—	36.1
	16.9	—	14.9

【問題点と見聞との比較】



▶「見聞」と「問題点」を比べると、すべて「見聞」が「問題点」を大きく下回る。
▶「見聞」のみで見ると、「結婚問題で周囲の反対を受けること」(15.9%)が最も高く、次いで、「差別的な言動をされること」(10.9%)、「身元調査をされること」(8.7%)の順になっている。
▶「特にな」との回答は3割強(35.8%)となっている。
▶「部落差別解消推進法」を知っている人は、全体に比べて、「見聞」に関するすべての選択肢において回答割合が高い傾向にある。(p126)

(12) 外国人に関する人権上の問題点と見聞

問18 ①あなたは、外国人に関することからで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

p83~86

- 1 言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)

30代の5割超、公務員の6割超、教職員の5割が回答。

- 2 住宅を容易に借りることができないこと

- 3 言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと

20代、30代、40代の約5割、公務員の7割超、教職員の6割が回答。

- 4 結婚問題で周囲の反対を受けること

- 5 就職、職場で不利な扱いを受けること

- 6 選挙など、制度面での制約を受けること

- 7 病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと

- 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること

- 9 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること

- 新 10 ヘイトスピーチ(特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動)を伴うデモ等が行われること

専門職・自由業の3割が回答。

- 11 その他

- 12 特にな

- 13 わからない

	R1	H20	山口県
②	37.1	37.4	33.9

	12.0	11.4	10.0
①	41.5	48.0	40.5

	12.9	7.3	6.9
	12.9	12.5	13.0
	5.5	13.4	5.7
	18.9	21.9	18.4
	5.4	10.5	6.1
	2.1	0.6	2.5
	10.9	—	11.1

	0.8	1.5	0.5
	11.2	13.6	11.6
	14.6	17.1	14.9

▶前回調査同様、「言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと」、「言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)」が主な回答となっている。
▶新たな選択肢である「ヘイトスピーチを伴うデモ等が行われること」は10.9%となっている。

②また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたものがありますか。(✓は3つまで)

p87~91

【新規】

□ 1 言葉や習慣などが違うので、社会に受け入れられにくいこと(嫌がらせを受けること)
18~19歳、20代、30代の約1.5割が回答。

	R1	H20	山口県
①	9.5	—	8.5

□ 2 住宅を容易に借りることができないこと
□ 3 言葉が異なるため、保健・医療・福祉、防災、教育などの日常生活に必要な情報が得にくいこと
専門職・自由業の3割が回答。

	3.2	—	3.3
②	9.0	—	8.3

□ 4 結婚問題で周囲の反対を受けること
□ 5 就職、職場で不利な扱いを受けること
□ 6 選挙など、制度面での制約を受けること
□ 7 病院や公共施設等に外国語による表示が少ないこと
医療等の関係者、公務員の約2割が回答。

	4.5	—	4.7
	4.6	—	4.0
	5.5	—	1.2
③	8.2	—	7.6

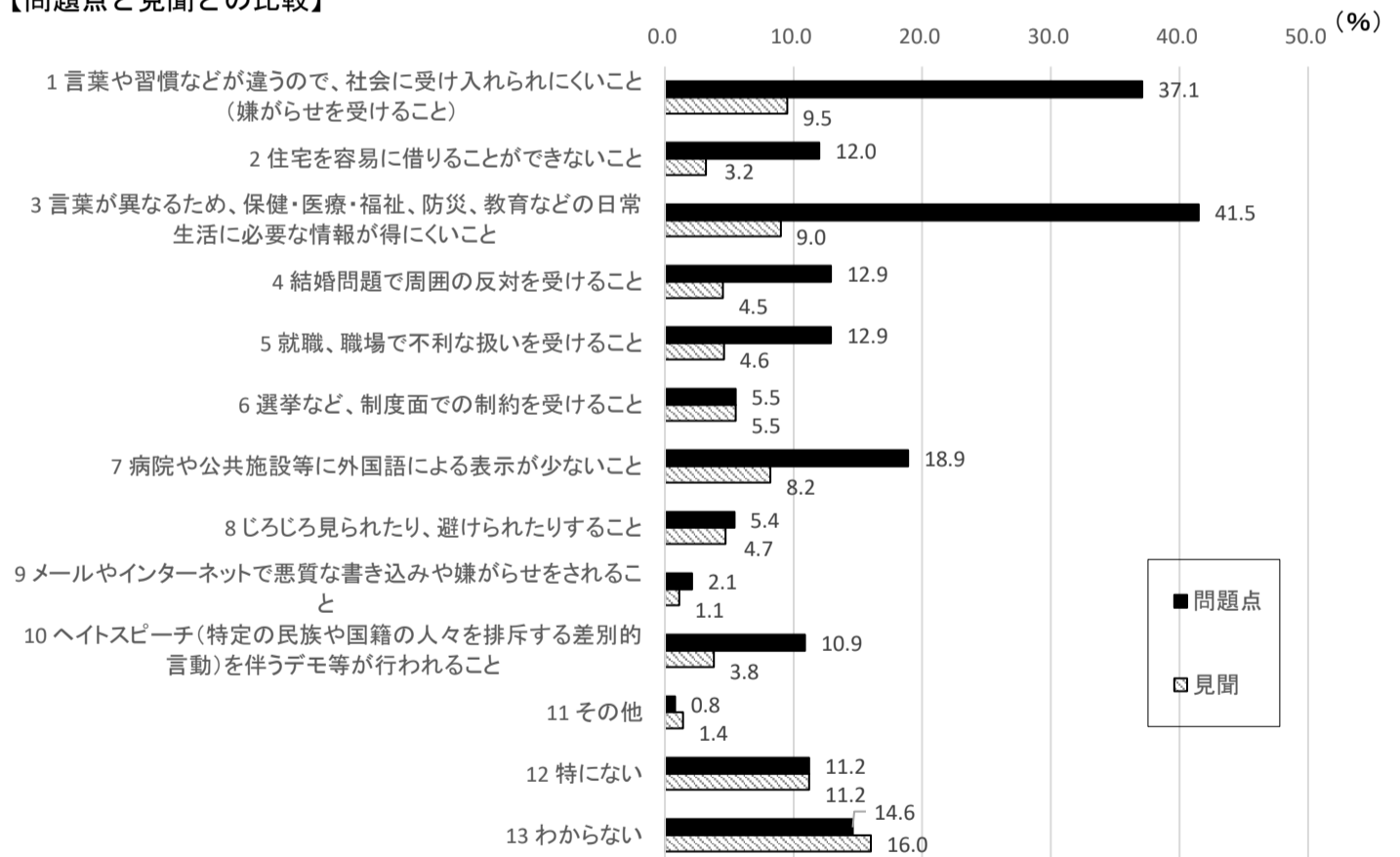
□ 8 じろじろ見られたり、避けられたりすること
□ 9 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
□ 10 ヘイトスピーチ(特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動)を伴うデモ等が行われること
18~19歳、学生の2割が回答。

	4.7	—	4.1
	1.1	—	0.7
	3.8	—	3.5

□ 11 その他
□ 12 特にない
□ 13 わからない

	1.4	—	0.7
	11.2	—	33.8
	16.0	—	14.9

【問題点と見聞との比較】



▶「見聞」と「問題点」を比べると、「見聞」のすべてが「問題点」を大きく下回る。
▶「ヘイトスピーチ解消法」を知っている人は、「見聞」の選択肢「ヘイトスピーチを伴うデモ等が行われること」が全体結果に比べ高くなっている。(p127)

(13) 感染症患者等に関する人権上の問題点と見聞

問19 ①あなたは、感染症患者等(HIV感染者・患者等)に関することがらで、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は3つまで)

p92~95

- 1 治療や入院を断られること
- 2 治療による薬害の被害を被っていること
- 3 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 4 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 5 無断でエイズ検査をされること
- 6 差別的な言動をされること
- 7 アパート等の入居を拒否されること
- 8 ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否されること
- 9 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
- 10 その他
- 11 特にない
- 12 わからない

	R1	H20	山口県
①	30.4	30.7	29.2
⑤ ↓	14.4	29.1	15.2
④	15.8	15.1	15.9
③	19.6	20.5	21.3
	8.0	6.7	9.3
②	26.7	27.0	25.8
	4.5	4.3	4.6
	5.5	8.2	6.9
	6.3	2.4	5.3
	0.1	1.0	0.3
	11.3	9.2	10.6
	23.9	30.0	22.1

▶前回調査で2番目に高い「治療による薬害の被害を被っていること」(29.1% →14.4%)は 14.7 ポイント低下。

②また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は3つまで)

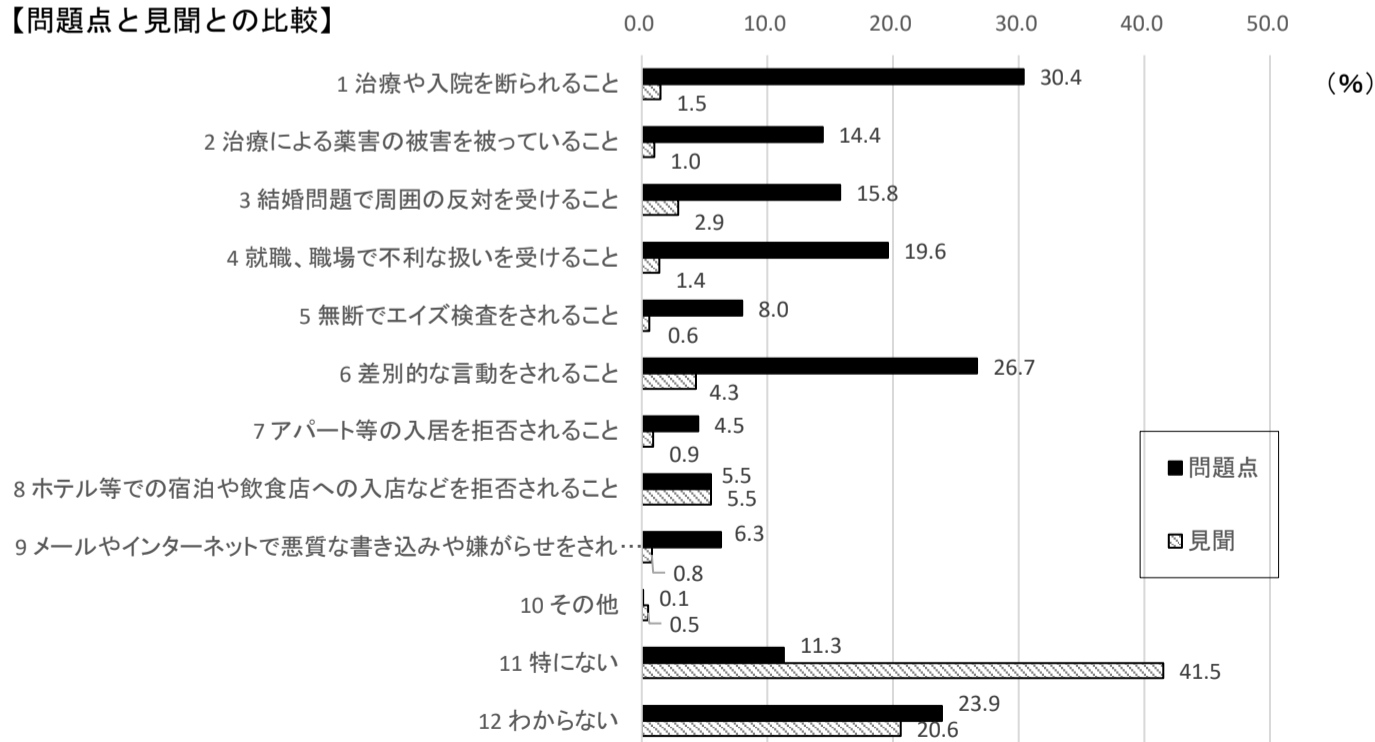
p96~99

【新規】

- 1 治療や入院を断られること
- 2 治療による薬害の被害を被っていること
- 3 結婚問題で周囲の反対を受けること
- 4 就職、職場で不利な扱いを受けること
- 5 無断でエイズ検査をされること
- 6 差別的な言動をされること
- 7 アパート等の入居を拒否されること
- 8 ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否されること
- 9 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
- 10 その他
- 11 特にない
- 12 わからない

	R1	H20	山口県
	1.5	—	2.5
	1.0	—	1.5
	2.9	—	3.2
	1.4	—	2.1
	0.6	—	0.3
	4.3	—	3.1
	0.9	—	0.5
	5.5	—	0.7
	0.8	—	0.7
	0.5	—	0.1
	41.5	—	42.8
	20.6	—	18.4

【問題点と見聞との比較】



▶「見聞」はすべて数パーセントで、「問題点」をはるかに下回っており、「特にない」との回答は4割強(41.5%)となっている。

(14) ハンセン病問題に関する人権上の問題点と見聞

問20 ①あなたは、ハンセン病問題(ハンセン病患者・元患者とその家族)に関することから、問題があると思われるのはどのようなことですか。(✓は2つまで)

p100~103

- 1 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと
- 2 差別的な言動をされること
- 3 ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと
- 4 アパート等の入居を拒否されること
- 5 ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否されること
- 6 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
- 7 その他
- 8 特にない
- 9 わからない

	R1	H20	山口県
② ↑	35.1	33.6	30.3
① ↑	35.4	24.0	29.4
	16.5	24.3	16.9
	3.1	2.9	2.6
	3.4	8.7	3.8
	3.3	0.7	2.2
	0.1	1.2	0.3
	10.6	8.3	8.5
	24.4	29.2	22.7

▶「差別的な言動をされること」が前回調査より11.4ポイント上昇し最も高く、次いで、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」が高い。

②また、あなたが、過去5年間に、実際に見聞きしたのがありますか。(✓は2つまで)

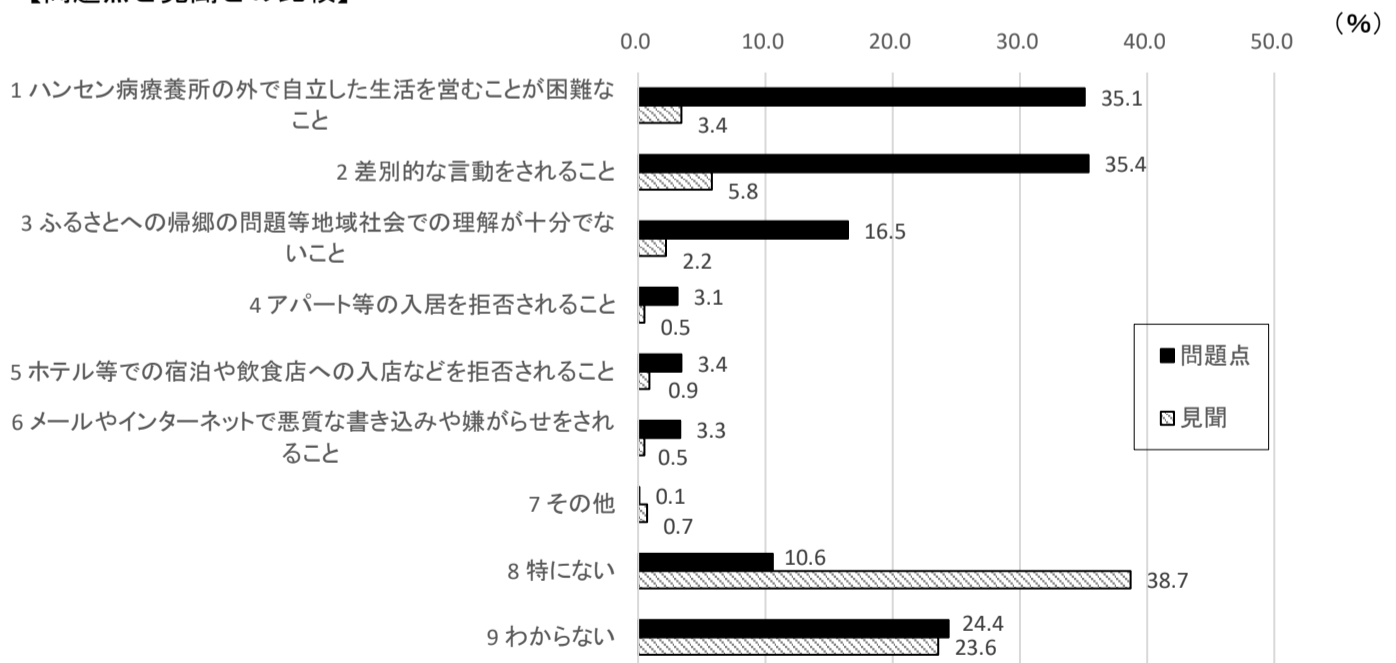
p104~107

【新規】

- 1 ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと
- 2 差別的な言動をされること
- 3 ふるさとへの帰郷の問題等地域社会での理解が十分でないこと
- 4 アパート等の入居を拒否されること
- 5 ホテル等での宿泊や飲食店への入店などを拒否されること
- 6 メールやインターネットで悪質な書き込みや嫌がらせをされること
- 7 その他
- 8 特にない
- 9 わからない

	R1	H20	山口県
	3.4	—	4.6
	5.8	—	4.7
	2.2	—	2.7
	0.5	—	0.4
	0.9	—	0.9
	0.5	—	0.4
	0.7	—	0.3
	38.7	—	38.4
	23.6	—	20.3

【問題点と見聞との比較】



▶「見聞」はすべて数パーセントで、「問題点」をはるかに下回っている。

3 人権教育・啓発の取組

(1)啓発活動への接触度

p108～111

問21 あなたは、これまでに県又は市が実施した次のような行事に参加したり、人権問題に関連した記事等を見たり読んだりした経験がありますか。(✓はいくつでも)

- 1 人権ふれあいフェスティバル等のイベント
- 2 県や市町の広報紙、パンフレット
- 3 新聞
- 4 テレビ・ラジオスポット
- 5 街頭啓発活動
- 6 展示物(ポスターやバス車体広告、JR駅舎広告等)
- 7 県や市町のホームページ
- 8 その他
- 9 特にない

	R1	H20	山口県
	10.2	9.0	12.3
② ↓	34.1	34.7	33.8
④ ↓	15.6	26.7	16.9
③ ↓	15.7	25.4	16.7
	4.8	4.1	5.9
⑤ ↓	15.3	15.8	16.6
	5.5	4.6	5.0
	1.1	0.7	1.0
① ↑	40.0	32.9	35.9
	11.2	8.2	10.3

20代、30代、専門職・自由業、企業等の勤め人、経営者・自営業者の5割超が回答。

- 10 わからない

▶回答選択肢の大半が前回調査より割合が低下している。
 ▶一方、「特にない」(32.9%→40.0%)が7.1ポイント上昇し、4割となっている。
 ▶山口県人権推進指針指針の理解度が高い人ほど、啓発活動への接触度も高い傾向にある。(p128)

(2)講習会・研修会・学習会等への参加経験

【新規】

p112～113

問22 あなたは、県や市のほか、職場や民間団体等が実施した講演会・研修会・学習会等に、過去5年間で何回参加されたことがありますか。

- 1 参加したことはない

20代、60代の9割超が回答。

- 2 1～2回

- 3 3回以上

参加経験あり
(計)13.8%

	R1	H20	山口県
	83.2	—	80.1
参加経験あり (計)13.8%	10.4	—	11.3
	3.4	—	3.5

「参加経験あり(計)」では、教職員の6割、公務員の5割が回答。一方で経営者・自営業者の回答は数%。

▶「参加経験あり(計)」(13.8%)が2割に満たない一方で、「参加したことはない」(83.2%)は8割強を占める。
 ▶山口県人権推進指針の理解度が高い人ほど、参加経験、参加回数の割合が高い傾向にある。(p132)
 ▶人権に関する法律を知っている人は参加経験の割合が高い傾向にある。(p133～134)

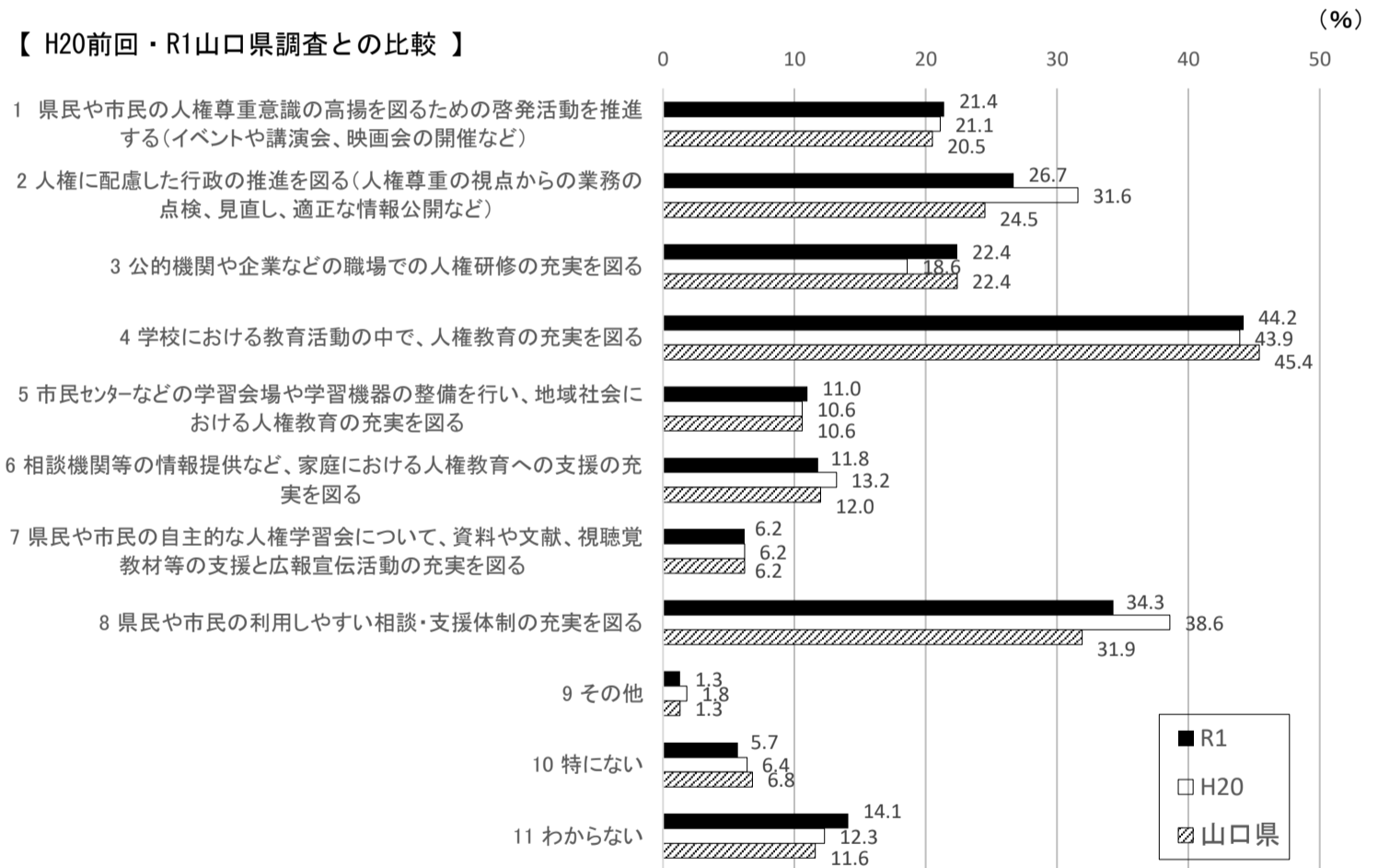
(3)人権に関する取組の今後の条件整備

問23 あなたは、今後、人権に関する取組として、どのような条件整備に力を入れていけばよいと思われますか。(✓は3つまで)

- 1 県民や市民の人権尊重意識の高揚を図るための啓発活動を推進する(イベントや講演会、映画会の開催など)
- 2 人権に配慮した行政の推進を図る(人権尊重の視点からの業務の点検、見直し、適正な情報公開など)
- 3 公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る
- 4 学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る
- ほとんどすべての年齢層、職業が回答。
- 5 市民センターなどの学習会場や学習機器の整備を行い、地域社会における人権教育の充実を図る
- 6 相談機関等の情報提供など、家庭における人権教育への支援の充実を図る
- 7 県民や市民の自主的な人権学習会について、資料や文献、視聴覚教材等の支援と広報宣伝活動の充実を図る
- 8 県民や市民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る
- 30代、経営者・自営業者、専門職・自由業の4割超が回答。
- 9 その他
- 10 特にない
- 11 わからない

	R1	H20	山口県
⑤	21.4	21.1	20.5
③	26.7	31.6	24.5
④	22.4	18.6	22.4
①	44.2	43.9	45.4
	11.0	10.6	10.6
	11.8	13.2	12.0
	6.2	6.2	6.2
②	34.3	38.6	31.9
	1.3	1.8	1.3
	5.7	6.4	6.8
	14.1	12.3	11.6

【 H20前回・R1山口県調査との比較 】



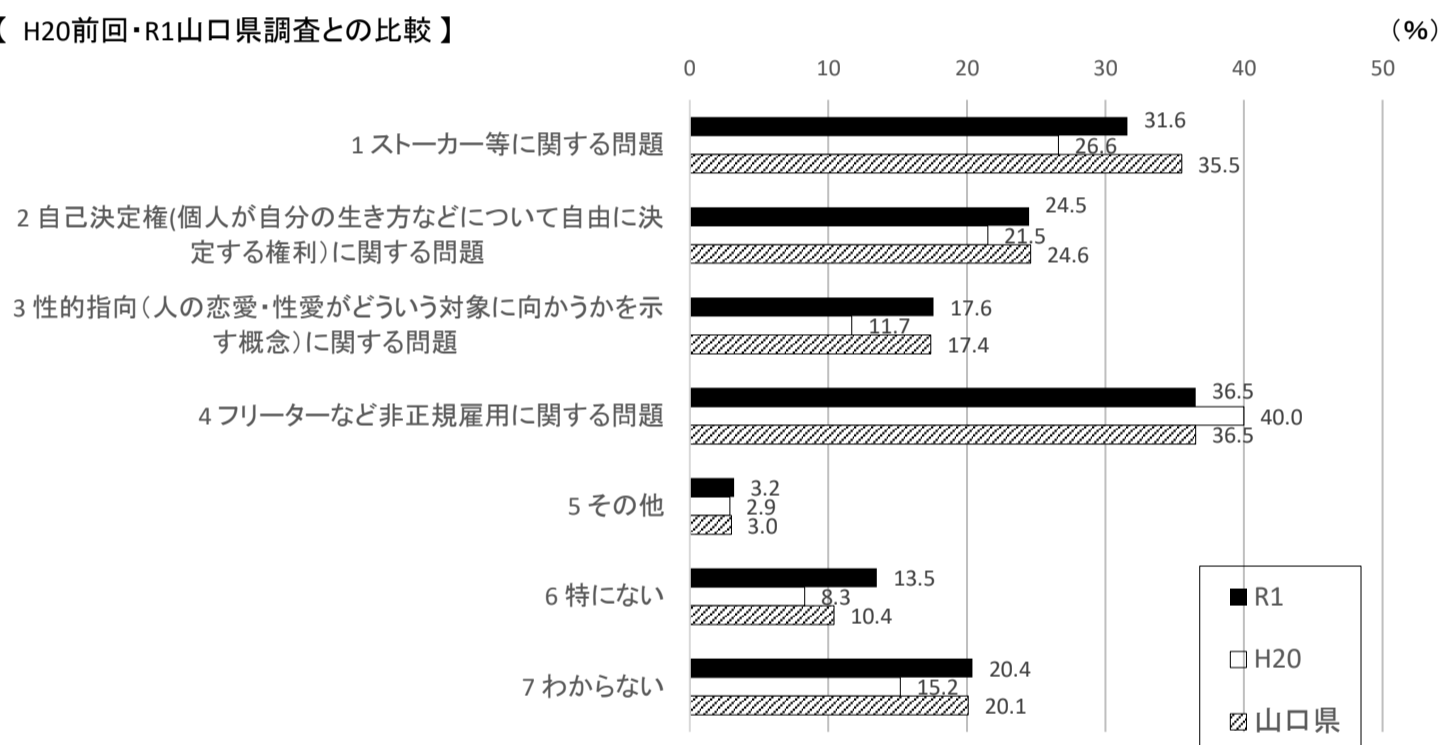
▶「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」44.2%が最も高く、次いで「県民や市民の利用しやすい相談・支援体制の充実を図る」、「人権に配慮した行政の推進を図る」の順となっている。

▶山口県人権推進指針の理解度が高い人のうち、「内容をよく理解している」人は「学校における教育活動の中で、人権教育の充実を図る」(52.6%)や「人権に配慮した行政の推進を図る」(36.8%)、「公的機関や企業などの職場での人権研修の充実を図る」(36.8%)などの回答割合が高くなっている。(p135)

問24 あなたは、人権に関わる課題として、今後、「山口県人権推進指針」や「周南市人権行政基本方針」にどのような問題を盛り込む必要があると思われますか。
(✓はいくつでも)

	R1	H20	山口県
<input type="checkbox"/> 1 ストーカー等に関する問題 18～19歳の4割超が回答。	31.6	26.6	35.5
<input type="checkbox"/> 2 自己決定権(個人が自分の生き方などについて自由に決定する権利)に関する問題	24.5	21.5	24.6
<input type="checkbox"/> 3 性的指向(人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうかを示す概念)に関する問題 18～19歳、20代の3割超、学生の4割弱が回答。	17.6	11.7	17.4
<input type="checkbox"/> 4 フリーターなど非正規雇用に関する問題 50代の4割強が回答。専門職・自由業の7割弱が回答。	36.5	40.0	36.5
<input type="checkbox"/> 5 その他	3.2	2.9	3.0
<input type="checkbox"/> 6 特にない	13.5	8.3	10.4
<input type="checkbox"/> 7 わからない	20.4	15.2	20.1

【 H20前回・R1山口県調査との比較 】



▶前回調査同様、「フリーターなど非正規雇用に関する問題」(36.5%)が最も高い。
▶次いで、「ストーカー等に関する問題」、「自己決定権に関する問題」、「性的指向に関する問題」の順に高く、いずれも前回調査より上昇している。